

平成27年幌加内町予算審査特別委員会 第1日目

平成27年3月9日（月曜日）

○出席委員（9名）

委員長	1番	齋藤雅文君	副委員長	4番	中村雅義君
	2番	小関和明君		3番	中川秀雄君
	5番	田丸利博君		6番	春名久士君
	7番	市村裕一君		8番	篠原正治君
	9番	小川雅昭君			

○欠席議員（0名）

○出席説明員

町長	守田秀生君
副町長	南谷幸夫君
教育長	佐藤勝君
総務課長	小野田倫久君
産業課長	大野克彦君
建設課長	竹谷浩昌君
住民課長	村上悟君
地域振興室長	清原吉典君
農業委員会事務局長	尾島昭君
保健福祉課長補佐	木下八代恵君
教育次長	蔵前裕幸君
病院事務長	中河滋登君

○出席事務局職員

事務局長	村上雅之君
書記補	猪谷祐介君

◎開会・開議の宣告

○委員長(齋藤雅文君) ただいまの出席委員数は9名であります。定足数に達しておりますので、直ちに予算審査特別委員会を開きます。

これより平成27年度幌加内町各会計予算の審議を行います。審議に先立ちまして一言ご挨拶を申し上げます。

委員各位並びに説明員の皆様におかれましては、朝早くからご出席をいただき、厚くお礼を申し上げます。さきの本会議において予算審査特別委員会が設置され、私が委員長として重責を担うこととなりました。議会は議会の立場で、広く客観的に町民の負託に応えられる政策の内容、費用対効果等を十分に論議して重ねてまいりたいと思います。ただし本会議の冒頭で、町長の予算編成方針にもございましたように、本定例会提出の予算は、骨格予算となっておりますので、必要最低限の予算になっておりますことを念頭に、ご審議をお願い申し上げます。能率的かつ効果的な委員会運営がなされますよう、委員各位のご理解と皆様のご協力を何とぞお願いいたしまして一言ご挨拶といたします。

◎議案第27号 ～ 議案第34号

○委員長(齋藤雅文君) それでは、これから付託を受けました議案第27号から議案第34号までの平成27年度各会計予算の件を議題といたします。

審議に入る前に、特別委員会の運営方法について事務局より説明をさせます。

○事務局長(村上雅之君) (予算審査特別委員会運営方法朗読、記載省略)

○委員長(齋藤雅文君) 以上で説明を終わります。

お諮りいたします。以上の審査方法により直ちに審査を行いたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(齋藤雅文君) 異議なしと認め、そのように取り進めることにいたします。

これから審査に入ります。説明員の皆様に申し上げます。今ほども説明がありましたように、新規の部分、昨年と変わる部分を中心に説明を行っていただき、説明は簡潔明瞭をお願いいたします。

暫時休憩いたします。

休憩 午前 9時06分 (町長・副町長・総務課長以外退席)  
再開 午前 9時07分

◎総務課所管の審議

出席者：町長・副町長・総務課長

○委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を解いて早速会議に入ります。

これから議案第 27 号 平成 2 7 年度幌加内町一般会計予算の説明及び質疑を行います。

歳出 1 款 議会費、2 款 総務費を一括して審査を行います。説明をお願いいたします。

○総務課長（小野田倫久君） 総務課長。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（小野田倫久君） ご説明申し上げます。

事項別明細書歳出 73 ページ、74 ページをお開き願います。

1 款 1 項 1 目 議会費、本年度 4127 万 2000 円、前年比 226 万 5000 円の増でございます。1 節 報酬、3 節 職員手当では、常任委員会の設置数を 1 から 2 へ変更することによる人件費の増となります。4 節 共済費では、議員共済組合公費負担金、この負担率が 52.8%から 63.7%へ増加したことによる増でございます。平成 2 7 年は統一地方選挙があることにより、給付費の増加が見込まれることになっての増であります。この負担金については、徐々に減少しながら、対象者がなくなるまで負担が続くこととなります。

2 款 1 項 1 目 一般管理費、本年度 6815 万円、前年比 1474 万円の減でございます。主な減の要因は、8 節 報償費において、昨年ありました功労章製作費 151 万 2000 円の減によるものと、旧庁用焼却炉及び公衆便所解体工事 1479 万 6000 円が減の要因でございます。

3 目 文書広報費、本年度 264 万 2000 円、前年比 49 万 6000 円の増でございます。11 節 需用費で町勢要覧の印刷増を計上しております。統一地方選挙後の一部訂正、変更等もあることから、500 部の印刷分を計上してございます。

4 目 財産管理費、本年度 1679 万 8000 円、前年比 543 万 5000 円の減でございます。昨年、15 節 工事請負費で幌加内地区労働会館解体工事 571 万 4000 円がなくなったことによる減でございます。

5 目 基金積立金、本年度 438 万円、前年比 66 万 7000 円の増でございます。

6 目 支所及び出張所費、本年度 215 万 2000 円、前年比 4000 円の減でございます。

7 目 恩給及び退職年金費、本年度 79 万 6000 円、前年同額でございます。

9 目 地域振興費、本年度 3244 万円、前年比 691 万円の減でございます。この目での総務課関連の内容につきましては、自治区長報酬、簡易郵便局に関する件を予算計上しておりまして、前年同額を計上させていただいています。また母子里地区に配置されました、地域おこし協力隊員の関係で、7 節 臨時雇賃金 480 万円、14 節 使用料及び賃借料で公私混同車の借上料 204 万円、地域おこし協力隊家電等借上料 15 万 6000 円など、地域おこし協力隊に係る経費を計上させていただいています。昨年は 8 月からの地域おこし協力隊の配置だったため、補正予算にて対応いただいていたところでございますけれども、今年度は当初予算に計上していることを申し添えます。

10 目 地域情報通信費、本年度 1460 万 1000 円、前年比 62 万 2000 円の増でございます。I R U の光回線、また各家庭にあります I P 告知端末等の維持管理に必要な経費を計上しておりますが、今年については特に説明はございません。

11 目 総合行政情報システム費、本年度 6820 万円、前年比 7795 万円の減でございます。この目

にしましては、役場の総合行政情報システムの維持管理に必要な経費を計上していますが、大幅な減の要因としましては、昨年度にシステムの更新に伴い、13節 委託料8137万5000円の減となったところです。

2項1目 税務総務費、本年度173万2000円、前年比15万5000円の減でございます。

4項1目 選挙管理委員会費、本年度43万3000円、前年比10万円の減でございます。

2目 知事、道議会議員選挙費、本年度365万5000円、前年比206万8000円の増でございます。この目につきましては、今年4月12日に執行の知事、道議会議員選挙に関する、4月以降分の必要経費を計上させていただいています。

3目 町長、町議会議員選挙費472万3000円、前年比472万3000円の増でございます。この目につきましては、今年4月26日に執行の町長、町議会議員選挙に関する経費を計上させていただいています。

5項1目 統計調査総務費、本年度2万3000円、前年同額でございます。

2目 諸統計調査費、本年度278万5000円、前年比198万1000円の増でございます。国勢調査の実施の年で、必要経費を計上させていただいています。

6項1目 監査委員費、本年度126万6000円、前年比2万5000円の増でございます。

1款 議会費、2款 総務費の説明は以上でございます。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。これから質疑に入ります。

委員各位に申し上げます。質疑は簡潔明瞭に、また一問一答となるようお願いをいたします。

それでは事項別明細書歳出73ページから質疑を受けます。

73ページ、74ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 75ページ、76ページについて質疑ありませんか。

○8番（篠原正治君） 委員長、8番。

○委員長（齋藤雅文君） 8番、篠原委員。

○8番（篠原正治君） 2款1項1目 11節 需用費

電気料についてお尋ねします。各款にこれから出てきますが、全体として掘んでいけば、前年対比でどれくらい見込まれるものなのでしょうか。

○総務課長（小野田倫久君） 総務課長。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（小野田倫久君） お答えいたします。

電気料の増額分の件でございますが、平成26年度、平成27年度の各款にわたり、役場の中で使われる使用料の比較ですけれども、これが742万4000円ほどの増となっており、前年対比16.5%の増でございます。各款で個別に電気料を持っていますので、そちらの方で必ず増加で数字が出てくるのではないかと思います。

○委員長（齋藤雅文君） 他に 75 ページ、76 ページについて質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 77 ページ、78 ページについて質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 79 ページ、80 ページについて質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 81 ページ、82 ページについて質疑ありませんか。

○8 番（篠原正治君） 委員長、8 番。

○委員長（齋藤雅文君） 8 番、篠原委員。

○8 番（篠原正治君） 2 款 1 項 4 目 14 節 使用料及び賃借料

車借上料についてお伺いします。本町の車借上料が 15 円/km では非常に安いのではないかと思います。他と比べても、実情に即しているのか、そこら辺の検討はされているのでしょうか。15 円/km では、燃料代にも満たないということですから、普通は燃料代と最低限の車の消耗代を、借り上げとして支払うことが当然ではないかと思いますがいかがでしょうか。

○総務課長（小野田倫久君） 総務課長。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（小野田倫久君） お答えいたします。

車借上料の単価の件でございますが、昨年もそのお話をいただいて検討しましたけれども、基本的に旅費の場合、公共交通機関を使うということを前提として考えています。車を借り上げることが、ごく普通に行われることが前提ではないために、検討はしましたけれども、今回は単価の改正をするかどうかということでは、見送ったところでございます。当町ではどこの町に行くのにも、自分の町の中も結構距離がありますので、それなりに公用車は用意をさせていただいて対応しているところから、そこについては増加させて、個人の車を使うなど、それを促すようなことに繋がってはいけないということで、行政改革の意味も含めて、改正しなかったところでございます。

○8 番（篠原正治君） 委員長、8 番。

○委員長（齋藤雅文君） 8 番、篠原委員。

○8 番（篠原正治君） 説明の主旨はわかりましたが、行政以外の車の借り上げが必ず発生いたします。小川議長の家の北星までは 37 キロメートルあります。議長がここまで出てくる回数はかなりあります。公共交通機関で間に合うかという、そうはならないのかなと、それと比較しても安いわけです。バスで幌加内から深川駅までですと、片道 1110 円、往復 2220 円です。車借上料はそこまでもいかないということですから、これは検討したということですが、さらに検討を加える必要があるのではないのか、個人の事例もあるということを入眼中に入れて、再度お願いしたいと思います。

○総務課長（小野田倫久君） 総務課長。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（小野田倫久君） お答えいたします。

各種委員、非常勤特別職の方もいらっしゃいますので、その方々についても影響があるのではないかとのお話しもいただきましたので、再度検討させていただきたいと思っております。

○委員長（齋藤雅文君） 他に 81 ページ、82 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 83 ページ、84 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 85 ページ、86 ページについて質疑ありませんか。

○5 番（田丸利博君） 委員長、5 番。

○委員長（齋藤雅文君） 5 番、田丸委員。

○5 番（田丸利博君） 2 款 1 項 9 目 14 節 使用料及び賃借料

地域おこし協力隊家電等借上料についてお伺いします。昨年までは国で対応していただいたのですが、今回は予算計上するという話だったと思っております。

○総務課長（小野田倫久君） 総務課長。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（小野田倫久君） お答えいたします。

昨年も予算計上は当然していますが、国からの過疎自立支援の交付金 1000 万円がありますが、それを実際には高齢者対策のところでの、例えば車を使って高齢者の方との対応をするような、そのような場面も想定して、お金的にはそこに充てるように予算を計上していました。昨年は当初予算にはなく、8 月に採択になってからの話だったので、補正予算でやっていますので、当初予算の比較では出てきていないという意味で申し上げたのですが、今回につきましては、新年度予算で新たに国からの交付金はないですけれども、単費でその分については計上させていただいている状況です。

○委員長（齋藤雅文君） 他に 85 ページ、86 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 87 ページ、88 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 89 ページ、90 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 91 ページ、92 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 93 ページ、94 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 95 ページ、96 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 1 款 議会費、2 款 総務費、全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） これで1 款、2 款の質疑を終わります。

次に9 款 消防費の説明をお願いいたします。

○総務課長（小野田倫久君） 総務課長。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（小野田倫久君） ご説明申し上げます。

事項別明細書歳出 147 ページ、148 ページをお開き願います。

9 款 1 項 1 目 消防総務費、本年度 1 億 5437 万 9000 円、前年比 1 億 4226 万 8000 円の減でございます。減額の主な要因につきましては、深川地区消防組合負担金のうち、昨年度実施されました消防救急デジタル無線整備事業 1 億 1814 万 2000 円、幌加内ポンプ車購入費 2792 万 1000 円、これらがなくなったためでございます。

なかなか、お話しする機会がないので、この場をお借りして深川地区消防組合の不正経理問題の件で一部情報をいただいておりますので、報告させていただきます。

平成 26 年 8 月に田中元消防長に対して、民事訴訟判決が言い渡されまして、3641 万円のもとの使途不明金になった分と、その利息、訴訟費用の支払いが命じられたところでもございました。その後、田中元消防長、弁護士、深川地区消防組合 3 者が入りまして、面談を行ってきています。これにつきましては、賠償金 3641 万円等の支払いについて求めましたけれども、現在まで 5 回の面談を行っております。そのたびに「検討します」というお言葉ばかりで、支払いに応じるような状況ではなかったようでもございます。今までに一部でも、お金を払えるものについては払って下さいということで申し渡してきて、過去 2 万円を 2 回で 4 万円を支払ってきているという状況で、とても誠意のある対応とは思われないということで、非常に難航している状況でございます。以後 3 月に 6 回目の面談も予定されています。今までも一時金として全額を一括で払うような、当然、元消防長も退職金等も貰っているでしょうし、そういうものを使ってでも支払いに応じて欲しいということを求めています。その一時金の支払いについて、次回はもう少し突っ込んだ話しをしたいということで、そのようなお話がありました。状況的にはあまり進んでいない状況でございますが、深川地区消防本部にお任せしていますので、推移を見守りたいと考えていますので、ご理解をいただきたいと思っております。

2 目 災害対策費、本年度 39 万 1000 円、前年比 11 万 5000 円の増でございます。この目に関しましては特に説明はございません。9 款 消防費の説明は以上でございます。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。これから質疑に入ります。

事項別明細書歳出 147 ページから質疑を受けます。

147 ページ、148 ページについて質疑ありませんか。

○8番（篠原正治君） 委員長、8番。

○委員長（齋藤雅文君） 8番、篠原委員。

○8番（篠原正治君） 消防不正経理問題について

もう少しこの場で論議しながら、圧力をかけるという方法も必要ではないかと、各町がどう思っているかということ、裁判で命令が出たわけですから、強制執行もあるのではと思いますが、なければとれませんから、そこら辺の、非常にふてぶてしく、2万円を2回払って4万円ですが、とても放置していいことにはなりません。他の方法が全くないのかどうなのか、我々は法律が詳しくないのでわかりませんが、これは和解だったのですか、和解でないとすれば、それこそ禁固に繋いで、労役でも、そのくらいの強い態度が必要なのではないかと、和解したということであればそういうことにもなりません、やられっぱなしだなという感じがします。もう少し課長の知っている範囲内でお知らせ下さい。

○総務課長（小野田倫久君） 総務課長。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（小野田倫久君） お答えいたします。

判決が出て支払いを命じられていますが、こちら側は和解していませんので、あくまでも判決の出た金額については、支払いをしてもらう、このスタンスは変わらないということでございます。今回、面談等も開いて対応していますが、ここで情報をいただいています、例えば単独の町で、個人に直接支払いをして下さいなどの、個別の対応だけは絶対にしてくれると言われていました。窓口は一本化して、そこで最善の方法をとっていくということで、僕らが聞いているのはこの範疇ですが、弁護士さんがついていますので、例えば一時金の支払い等も、もう少し踏み込んで調査をするのか、本人が言わなければそれで終わりということにもならないでしょうから、その辺を鋭く追及していくのかと思っていますが、それは誰でもやれるわけではないので、弁護士さんにお任せするのではないかと考えていますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○委員長（齋藤雅文君） 他に147ページ、148ページについて質疑ありませんか。

○9番（小川雅昭君） 議長。

○委員長（齋藤雅文君） 議長。

○9番（小川雅昭君） 9款1項2目 災害対策費

最近の報道でも、道東を中心に学校の方で、吹雪の時に子供を帰していいのか、迷うようなことがあり、学校でかなり災害用の備蓄品、食料、水など多めに備蓄している報道がありました。本町にとって大きな災害はありませんが、そこら辺の備品、備蓄品についてどのような状況になっているのかお伺ひしたいと思います。



○総務課長（小野田倫久君） 総務課長。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（小野田倫久君） お答えいたします。

新年度予算では数字的には動きがありませんので、見えてきていませんけれども、平成26年度で備蓄品も一部補助をいただきまして、買い求めて、公民館、コミュニティセンター、役場に多くを備蓄するように配置したところでございます。本来であれば、各避難所に必要な分を置いていくという形になりますが、その部分についてはこれから、一旦は支所や役場など大きいところに置いておいて、その細部について必要のあるところに配置していければと考えています。例えばアルファ米やすぐ煮炊きができるような食料、水など、必要最小限のもので議長の言われていた、学校から帰られないとか、そういう状況になったときに、菓子パンやカップラーメンなど、そういうものをとすることは、今のところは手配している状況ではございませんが、その辺については、教育委員会、各学校とも協議しながらできるものは対応していきたいと考えていますので、よろしく願いしたいと思います。

○9番（小川雅昭君） 議長。

○委員長（齋藤雅文君） 議長。

○9番（小川雅昭君） 現在、どのくらいの量が置いてあるのか、お知らせ下さい。

○総務課長（小野田倫久君） 総務課長。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（小野田倫久君） 手元に資料がないので、後ほど資料をお渡しいたします。

○9番（小川雅昭君） 議長。

○委員長（齋藤雅文君） 議長。

○9番（小川雅昭君） 備蓄品に関しては、学校で帰られない状態になると、学校の子どもたち、生徒だけではなく、道東の方では近隣の住民の分までも備蓄をしていると、それも4～5日分だとか、そのようなこともありますので、ご検討をいただきたいということもありますし、今年のこの冬も、本町ではさほどひどくは無かったのですが、北部の方では、前も見えない状態が2、3回あり、子どもたちを帰すか、親も迎えに行くか迷った状態がありました。そのようなことも含めて、行政的な、子どもを帰しなさいという、現場に判断を任すということも必要ではないかと思えます。そのためにもこれは必要なくなるかもしれませんが、備蓄品だけは多めに置いておいた方がいいのではないかと思います。前向きに検討をしていただきたいと思えます。

昨年大きな水害がありましたが、それに対して、本町の防災会議はどのようにされたのかお伺いしたいと思います。

○総務課長（小野田倫久君） 総務課長。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（小野田倫久君） 防災会議の件ですが、どのようなというのはどのようなことを聞いていらっしゃるのか、詳しくお願いします。

○9番（小川雅昭君） 議長。

○委員長（齋藤雅文君） 議長。

○9番（小川雅昭君） 昨年の水害で各所、雨煙別以北に大きな災害になっているわけですが、特に朱鞠内方面については、早期に避難命令を出して、住民も避難していればよかったです、一説には、非難しようと思ったときには水がきていたと、そういう状況もあり、国道275号線が通行止めになったと、そういう状況のもとで、役場防災会議、メンバーはどのような構成になったのかわかりませんが、役場、消防、警察、道路維持管理者、そこら辺まで入れての統制のとれた防災、避難対策など、そこら辺の進め方が、今回もなかったように思います。いつどこで起こるかかわからない災害ですので、しっかりと本町の防災会議があるならば、ここに防災会議の報酬として4000円が載っていますので、機能していただきたいと思います。

○総務課長（小野田倫久君） 総務課長。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（小野田倫久君） 防災会議ということですがけれども、昨年の8月につきましては、体制的には役場の中で災害対策本部を設けまして、各課長を集めて、情報を集めた中で対策に追われたところでございます。その中で朱鞠内の床下浸水等の発生も踏まえて避難勧告、それから土砂災害の関係で、昨年から指定されました学校側など数箇所ありますが、そのエリアに住む人たちに、危ないので移動してくれということで、コミュニティセンターもしくはよるべさんに移動してもらった経緯があります。確かにタイミングが遅いと言われると、会議等をして、流れ的には周知になっていくということですので、なかなか最短時間での対応となっていませんが、会議よりも対応に対する作戦会議については、役場の中で、消防も入ってやっています。お話しにもありましたが、警察は会議には入っていません。今回も朱鞠内ダムからの放水もあり、かなり水位も上がったということもありまして、地域の農地が災害に遭われた方々も含めて、北電から8月の災害時の状況の報告と対応についても会議を開きましたが、それを受けて、3月17日に北電に申し入れをしに、町長に行ってもらおうという段取りになっているところでございます。他に開発局、道など関係機関にもこのような動きをしているので、答申をお願いしますということも含めて、対応については、前向きにこちらも努力をしたいと考えています。さすがにいつ、どこで起きるかかわからない災害ということで、ルールは決まっていますが、その時に人の数やいる場所によってスムーズにいかない場合がありますので、その辺については、少しでも訓練等も含めて、迅速な対応ができるように、それからキメ細やかな対応を努めていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

○8番（篠原正治君） 委員長、8番。

○委員長（齋藤雅文君） 8番、篠原委員。

○8番（篠原正治君） 私も大変その件について危惧しています。幌加内でも何らかの訓練があってもいいのではないかと思います。保健福祉とも関連するわけですがけれども、自力で避難ができない方も相当います。その方が単身の場合、家族も手が及ばず、だいぶ前にそういう名簿を作ったことがあります。災害の時にどなたが隣、近所で手助けをするのか、そこら辺も、もう忘れましてし、本人も忘れていないのではないかと、頼まれた人も忘れていないのではないかと、そのくらい年数が経って

いますし、期間についても、そういう部分も含めて行う必要があるのではないかと。昨年の避難指示についても、どこに行けばいいのだと、現実にはどのような連絡だったのか聞いていませんが、どこに行ったらいいのだという状態だったようでもあります。もう一つは雨竜川の幌加内市街地の左岸にあります、土盛りした箇所の利用度についても、住民は何の場所だかわかっていません。当初の噂ではヘリポートという話しですけれども、そこが何かやってくれるのか、そこへ逃げるのか、そこもわかっていないということですから、もう少し防災の訓練と合わせて、そのような危機の場合の情報の周知徹底を図るべきではないかと思えます。

○総務課長（小野田倫久君） 総務課長。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（小野田倫久君） 先に小川議長からありました、防災会議や水防の協議会の委員会の報酬がありますので、しっかりと会議をした方が、という話しがありましたけれども、これも防災計画等の大幅な変更がある場合に各種、幌加内町の間人だけでなく、各関係機関の人も集まってやる会議の予算であります。ここ数年、平成19年から当町の防災計画ができていますけれども、最初にやって以来、軽微な変更ですとときていまして、変わったところの申し送りですとときていまして、会議自体はやっていません。大きな変更があったときには集まってやっていかなければいけないかと考えていますけれども、それについても今後検討したいと思えます。

篠原委員から逃げる場所もよくわからないという話し、それから清月の災害の施設につきましては、開発局で整備していただいたところで、急事の際には幌加内町も使っていただいて結構ですということでお伺いしています。その辺の連携もこれから密にしていきたいと考えていますし、今年、補助事業で防災マップの見直しをしたものを印刷かけて、でき上がってくるところです。昨年の土砂災害の場所やそういうこともしっかりと入れて、100年に1回の水害になったときに、どこまで水が浸るかという、そういう水深の深さによって色分けした、浸水区域の図面、逃げる場所、避難場所については、耐震化されている施設でない、危ないということで、数は減らしていますが、たくさんあるよりは、わかりやすく避難をしていただくことも大事なのかなというところで、見直しをして、作っているところです。これを配布するわけですけれども、配布の際には各地域に説明に行き、防災のことについても、意見交換をしながら上手くマップを使っていきたいと考えていますので、それにつきましても、また年度を明けましてから、各地域にお伺いしますので、その際にはよろしくお願ひしたいと思えます。

○9番（小川雅昭君） 議長。

○委員長（齋藤雅文君） 議長。

○9番（小川雅昭君） 今の丁寧な説明をいただいたのですが、全道的な防災の対策ではなく、本町としてハザードマップ、100年に1回の大雨になった時にどういう状況になるのか、実際に本町で指揮、動いてくれる各種の人を、代表者でも何人かずつ集めて、本町が災害になった時の対処をどうするのか、どこにどのように連絡をしていくのか、そういう防災会議が、毎年1回くらいあってもおかしくないのではないかと。報道では、道東の低気圧が発達して、暴風雪になるといっていますが、道東の方で50年に1度の大雪の状態です。別海町にも何年かいましたが、1メートルを超える雪なんて考えられない、本当に考えられないことが今後我々の町にも起こりうる可能

性があるので、町民を守る立場からも、私はそういう会議を開いて、想定しながら作戦を立てておく必要があるのではないかと思います。

○町長（守田秀生君） 町長。

○委員長（齋藤雅文君） 町長。

○町長（守田秀生君） 4年前の3.11の大震災と原発事故以降、住民の方々の災害がいつやってくるかわからない、こういう意識の高まりがあるかと思えますし、また特に26年、27年の冬のシーズンにおける道東を中心とする、暴風雪の実態からみても、また北海道近海において、地震が起きる可能性が指摘されている、こういうことから考えてやはり、幌加内町としての防災体制、防災意識の高揚、これを図るための具体的な施策実践が必要ではないかと思っております、26年度においては、検討課題としてたくさんあったわけですが、実際に実施できたのは災害時の非常用備品、災害時の備品の備蓄品、これらの国の補助をいただきながら、整備をある程度したと、防災マップの見直しに手をつけた、このことが26年度の実際の実施状況でございますが、27年度以降につきましては、やはり防災訓練まで視野に入れた、住民意識の高揚のための対策、ただいまご指摘のあった、年1回くらいは町の防災に関わる関係者を集めた防災会議を定期的にやるべきと、これについても是非やっていく必要があるだろうと考えていますので、そのようにとり進めてまいりたいと思っておりますので、ご理解をいただきたいと思えます。

○委員長（齋藤雅文君） 他に147ページ、148ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） これで9款の質疑を終わります。

次に12款 公債費、13款 諸支出費、14款 職員費、15款 予備費を一括して説明をお願いします。

○総務課長（小野田倫久君） 総務課長。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（小野田倫久君） ご説明申し上げます。

事項別明細書歳出177ページ、178ページをお開き願います。

12款1項1目 元金、本年度3億8483万5000円、前年比703万円の減でございます。

2目 利子、本年度4019万5000円、前年比551万9000円の減でございます。減額の主な要因につきましては、平成14年度に借り入れてあります、西3条線の建設事業債、これは過疎債ですが、これと平成16年度に借り入れを行いました添牛内研修センターの整備事業債、これは辺地債を借りてありますが、この2つの建設事業債償還が完了したことが大きな要因となっております。利子につきましても、利率変動型に伴う、借款減によるものです。起債の残高については、193ページの第3表の2において記載されていますので、お目通しをいただければと思います。

13款1項1目 土地取得費、本年度100万円、前年同額でございます。

14款1項1目 職員給与費、本年度5億5120万7000円、前年比2163万3000円の増でございます。この増額の主な要因につきましては、採用予定者4名の異動によるもので、給料807万7000円、期末勤勉手当596万7000円、共済組合負担金450万9000円の増によるものでございます。4名の採用で

すが、予算編成時には4増1減の計算で行っていますのでよろしくお願ひします。なお185ページ、186ページに職員費の明細書、187ページに給与及び職員手当の増減額の明細、188ページ～191ページにかけて、給与及び職員手当の状況を添付していますので、お目通しをいただければと思います。

15款1項1目 予備費、本年度500万円、前年同額でございます。

以上で説明を終わらせていただきます。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。これから質疑に入ります。

事項別明細書歳出177ページから質疑を受けます。

177ページ、178ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 179ページ、180ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 181ページ、182ページについて質疑ありませんか。

○8番（篠原正治君） 委員長、8番。

○委員長（齋藤雅文君） 8番、篠原委員。

○8番（篠原正治君） 14款1項1目 職員給与費

ただいま4名の採用予定というお話がありました。これから増えるなど、途中採用を考えているのかわかりませんが、現在まで固まっている採用予定者、内定者をお尋ねします。何か資格を持った人がいるのか、それとも高卒、大卒、専門学校卒と採用予定者の前歴も含めてお知らせ下さい。

○総務課長（小野田倫久君） 総務課長。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（小野田倫久君） お答えいたします。

4名の採用予定者の件でございますが、3名は一般職を募集していました。1名は技術職で建築職員を募集していました。現在の状況でございますが、まず一般職では、9月から採用試験を3回にわたって再募集をかけて、結果から言いますと、その中で1名の採用が決まり、本人も来ていただける了解もございます。一般職では予算上は3名を計上していますが、2名分は対応ができなかったということが現状でございます。もう一つの技術職では、2月に第2次募集をしまして、2名が受けていただいて、1名が面接まで通過し、その方が来ていただけるということで、本人の了解をいただいているという状況で、合計で2名の採用が確定している状況でございます。

○8番（篠原正治君） 委員長、8番。

○委員長（齋藤雅文君） 8番、篠原委員。

○8番（篠原正治君） 学歴等をお願いします。

○総務課長（小野田倫久君） 総務課長。

○委員長（齋藤雅文君） 総務課長。

○総務課長（小野田倫久君） 一般職の方でございますが、4年生大学卒の男性で卒業をして、すぐ入ってくるということでもあります。それから技術職の方は、民間経験が数年ございまして、現在29歳でございます。実際には民間企業に勤めていて、そちらを退職され、こちらに来ていただける方です。また資格要件がありまして、他町では一級建築士を持っている方としていますが、本町は二級建築士で採用いたしまして、勤めてから頑張っ一級になってもらうことも含めて、二級で募集した形になっています。

○委員長（齋藤雅文君） 他に181ページ、182ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 183ページ、184ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 12款から15款、全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 質疑を終わります。これで総務課所管の質疑を終わります。

暫時休憩いたします。

休憩 午前10時07分（総務課長：退席）

再開 午前10時15分

#### ◎地域振興室所管の審議

出席者：町長・副町長・地域振興室長・地域振興室主幹・企画調整係長

○委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を解いて審査を続けます。

地域振興室所管の2款 総務費の説明をお願いいたします。

○地域振興室長（清原吉典君） 地域振興室長。

○委員長（齋藤雅文君） 地域振興室長。

○地域振興室長（清原吉典君） ご説明申し上げます。

事項別明細書歳出77ページ、78ページをお開き願います。

2款1項2目 企画費、本年度3100万2000円、前年比266万2000円の減でございます。11節 燃料費86万9000円では、昨年10月より運行をしています、無償運行の車両の9月末までの燃料費を計上しているところでございます。13節 ほろみん号試験運行業務委託料264万6000円でございますが、無償運行の委託料を計上しています。支出につきましては、出動実績に基づき支出することとしています。14節 車借上料136万1000円ですが、こちらは無償運行の車両の9月分までのリース料を計上しているところでございます。19節 テッシ・オ・ペツ賑わい創出協議会負

担金2万3000円でございますが、26年度の6月補正で対応させていただいておりますけれども、天塩川流域の市町村の一体的な連携のために負担金を計上しているところでございます。企業立地促進補助金80万円ですが、利子補給50万円、雇用奨励補助金30万円の補助を計上しているところでございます。利子補給は三津橋産業でございます。雇用奨励補助金は株式会社ほろかないでございます。民間賃貸住宅建設事業費補助金2200万円では、3年間の時限立法で要綱を定めていませぬけれども、27年度でも1棟4戸を建設、運営する事業者に対して費用の一部を助成することで予算を計上しています。建設予定地としては、旧JRの官舎の跡地付近か、宅地造成地2戸分をつぶしまして、そこに1棟4戸を建てる予定でございます。それも含めて事業者の応募があったところと協議をしながら、どちらがいいかということで進めていく予定でございます。

9目 地域振興費、本年度3244万円、前年比691万円の減でございます。昨年では地域おこし協力隊の経費を計上していました。今回、経常経費分として本年度42万8000円を計上して、前年対比344万円の減ということで計上しています。関係する節につきましては、8節 ふるさと納税謝品、そば等の物産品の宣伝費用としまして20万円、9節 普通旅費21万7000円、12節 地域おこし協力隊分としてパソコンを契約していますが、解約費用としまして、1万1000円を計上しているところでございます。

説明は以上でございます。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。これから質疑に入ります。

それでは事項別明細書歳出77ページから質疑を受けます。

77ページ、78ページについて質疑ありませんか。

○6番（春名久士君） 委員長、6番。

○委員長（齋藤雅文君） 6番、春名委員。

○6番（春名久士君） 2款1項2目 13節 ほろみん号試験運行業務委託料

幌加内から旭川までのバスの試験運行ということで始まりましたが、試験運行ということで、実施しながら、町民の意向も確かめながらということだと思えます。今まで町民からどのような評価を受けているのか、聞くところによると、病院に通院するにしても、時間帯が使いにくいという意見も聞きます。利用者の意見はどのような形で捉えているのですか。

○地域振興室長（清原吉典君） 地域振興室長。

○委員長（齋藤雅文君） 地域振興室長。

○地域振興室長（清原吉典君） 運行実績についてご説明させていただきます。10月から始めまして、利用者数では10月は62名、11月は71名、12月は69名、1月は68名、2月は71名の5ヶ月で341名の利用があったということでございます。利用者の住所につきましては、幌加内が一番多く7割ほどを占めています。利用者の年齢では65歳以上が65%を占めています。利用目的では通院が54%、買い物が17%ということで利用があります。アンケートをとってありますが、現在の状況につきましては、大変好評ということで自由記載欄には、「今後も継続してほしい」「大変助かります」などの声がかかっているところでございます。また年度を越えまして、地域公共交通会議のような会議を開きまして、その中で議論をして今後の時間帯も含めて、どのよう

なあり方がいいのかも検討しながら進めていきたいと思えます。

○委員長（齋藤雅文君） 他に 77 ページ、78 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 79 ページ、80 ページについて質疑ありませんか。

○8 番（篠原正治君） 委員長、8 番。

○委員長（齋藤雅文君） 8 番、篠原委員。

○8 番（篠原正治君） 2 款 1 項 2 目 19 節 民間賃貸住宅建設事業補助金

金額ではありませんが、建設場所について、地元の町内会も 8 名も増えるとは思っていなかったということで、地元の町内会も知らなかったということでもあります。あまり早くから計画がなかったのか。27 年度は宅造地か JR 跡地ということでもありますから、また離れたところに建設することからすれば、どこか集約化できた方がいいのではと、道路建設費の関係、あるいは除雪費の関係、1 箇所人が集まる方がいいのか、悪いのか別として、ランニングコストを考えると、そのような計画も必要ではないかと思われるわけですが、そこら辺の検討結果をお知らせ下さい。

○地域振興室長（清原吉典君） 地域振興室長。

○委員長（齋藤雅文君） 地域振興室長。

○地域振興室長（清原吉典君） 民間賃貸住宅につきましては、3 年間の時限立法ということで、3 棟分の予定をしながら、理事者とも場所については検討したところでございます。町内会につきましては、応募があった段階で、説明はこちらからは具体的にはしているところではないのですが、町内会からは人が増えて、活性化が図られているとの声もありますので、そちらについては良かったのかと思います。建てる場所については、ゾーンの関係もございまして、ある程度担当レベルでも今後建設する場所も含めて、議論した結果、今の現在建てた場所がベストな状況だろうということです。今後につきましても、1 棟は離れるわけですが、その内容につきましても、担当レベルでもどこがいいだろうということで、調整をして、27 年度は小学校の裏の宅造地を予定していますので、内部調整をしながら各課、いろんな施設がありますので、そういうことも連携しながら場所については検討しているところでございます。

○8 番（篠原正治君） 委員長、8 番。

○委員長（齋藤雅文君） 8 番、篠原委員。

○8 番（篠原正治君） 現在建っているところの周辺では、町有地の余裕がないということで、他の場所に予定をしているのですか。

○地域振興室長（清原吉典君） 地域振興室長。

○委員長（齋藤雅文君） 地域振興室長。

○地域振興室長（清原吉典君） どうしても雪の関係がございまして、当初から 2 棟ということで予定していました。また隣もまだ民地のままでございまして、そちらにも雪ははみ出せないということで、多少は広めにとっているところでございます。約 1500 平米ほどで、1 棟 4 戸で一区画と



いうことで貸し付けしているところでございます。

○委員長（齋藤雅文君） 他に 79 ページ、80 ページについて質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 83 ページ、84 ページについて質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 2 款 総務費、全般について質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） これで 2 款の質疑を終わります。  
次に 6 款 農林水産業費の説明を願います。

○地域振興室長（清原吉典君） 地域振興室長。

○委員長（齋藤雅文君） 地域振興室長。

○地域振興室長（清原吉典君） ご説明申し上げます。

事項別明細書歳出 123 ページ、124 ページをお開き願います。

6 款 1 項 3 目 農業振興費につきましては 19 節が地域振興室で管轄している箇所でございます。  
19 節 全国麺類文化地域間交流推進協議会負担金、本年度 10 万円、社団法人日本蕎麦協会年会費  
5 万円、そば活性化協議会助成金 81 万円、これらは前年同額ということで計上させていただいて  
います。25 節 基金積立金利子 そば産地活性化振興基金 1 万円を計上させていただいています。  
これで 6 款 農林水産業費の説明は以上でございます。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。これから質疑に入ります。

それでは事項別明細書歳出 123 ページ、124 ページのうち、地域振興室分について質疑ありませ  
んか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） これで 6 款の質疑を終わります。  
次に 7 款 商工費の説明を願います。

○地域振興室長（清原吉典君） 地域振興室長。

○委員長（齋藤雅文君） 地域振興室長。

○地域振興室長（清原吉典君） ご説明申し上げます。

事項別明細書歳出 137 ページ、138 ページをお開き願います。

7 款 1 項 2 目 観光費につきましては 19 節が地域振興室で管轄している箇所でございます。19  
節 イベント協賛交付金 420 万円でございます。新そば祭り 360 万円、フォトコンテスト 30 万円、  
こちらにつきましては前年同額で計上させていただいています。

これで 7 款 商工費の説明は以上でございます。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。これから質疑に入ります。

それでは事項別明細書歳出 137 ページ、138 ページのうち、地域振興室分について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） これで7款の質疑を終わります。

これで地域振興室所管の質疑を終わります。

暫時休憩いたします。

休憩 午前10時30分（地域振興室長・地域振興室主幹・企画調整係長：退席）

再開 午前10時33分

#### ◎住民課所管の審議

出席者：町長・副町長・住民課長・住民課主幹・住民課主幹

○委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を解いて審査を続けます。

住民課所管の2款 総務費、3款 民生費を一括して審査を行います。説明をお願いいたします。

○住民課長（村上悟君） 住民課長。

○委員長（齋藤雅文君） 住民課長。

○住民課長（村上悟君） ご説明申し上げます。

事項別明細書歳出 79 ページ、80 ページをお開き願います。

2款1項4目 財産管理費につきましては、住民課以外の予算も含まれていますので、住民課分でご説明いたします。予算総額 54 万 1000 円、前年比 95 万 1000 円の減でございます。11 節 修繕料 184 万 7000 円のうち、住民課分 25 万 5000 円でございますが、車両一般で 4 万円、その他定期点検と町有住宅 20 万円分を予算化したところでございます。

9 目 地域振興費の住民課分 672 万円、前年比 890 万 9000 円の減でございます。11 節 修繕料 15 万 7000 円のうち 13 万 7000 円が住民課所管分でございます。内訳は、添牛内、朱鞠内の公園管理棟、これの一般修繕分で 5 万円、朱鞠内管理棟の裏手になりますが、引き戸の制動装置が壊れていますので、修繕に 8 万 6400 円を計上したところでございます。昨年、13 節 テレビ中継局受信点電界強度調査委託料 350 万円を計上していました。これが終わりましたので、その分が皆減となっております。節はありませんが、昨年、15 節 テレビ中継局予備電源設置工事 514 万 1000 円がございました。これも終了いたしましたので、皆減となっております。19 節 朱鞠内自治区 100 周年記念事業補助金 50 万円を計上していました。昨年は総合振興補助金で見ましたので、補正で落としていますが、当初予算との比較ということで、これについても皆減となっております。14 節 路線バス回数券 180 万円を計上しています。これについては、1800 冊分を計上したところでございます。19 節 路線バス定期券購入助成金 119 万 4000 円でございますが、深川 21 名、名寄 1 名分を計上したところでございます。

12目 交通安全対策費 240万3000円、前年比28万8000円の減でございます。9節 交通安全指導員の費用弁償12万円、前年比8万2000円の増でございます。本年度北ブロックの交通安全指導員研修が枝幸町で実施されます。基本的には隔年の計画で、これに参加するというにしています。本年、これに参加したいということで増となったところでございます。普通旅費2万3000円、これは道北ブロックの研修に職員の随行ということで、その分が増でございます。11節 修繕料ですが、新成生の国道275号線に交通安全標識「あぶない、事故多し」という標識、全部で5枚になるのですが、現在傾いていまして、あれは以前交通事故があったときに設置されたということで、現在見通しもよく、あまり必要ではないのではないかということで、撤去の予算を計上したところでございます。19節 町交通安全協会助成金12万円、前年比15万6000円の減でございます。昨年、貸し出し用のチャイルドシートの購入助成金を計上しましたが、本年は様子を見るということで、その分が皆減となったところでございます。

3項1目 戸籍住民登録費33万7000円、前年比9000円の減でございます。昨年、18節 備品購入5万6160円を計上していますが、この購入が終わりましたので、その分が減でございます。

続いて3款 民生費についてご説明をいたします。事項別明細書歳出97ページ、98ページをお開き願います。

3款1項1目 社会福祉総務費6768万3000円のうち、住民課分339万9000円で前年比26万9000円の増でございます。19節 防犯灯維持管理費補助金253万円、前年対比33万円の増となっております。これは電気料の増額分でございます。28節 国民健康保険特別会計繰出金1345万6000円ですが、これは特別会計で詳しくご説明させていただきたいと思いますが、概要のみご説明させていただきます。内訳は総務一般管理費分286万2000円、特定検診等事務費46万2000円、保健衛生普及費21万7000円が事務費の内訳でございます。保険基盤安定（軽減分）450万円、同じく支援分119万円、財政安定化支援事業69万5000円、出産育児一時金140万円、短期人間ドック180万円、単独事業33万円の内訳でございます。

5目 医療給付費の11節 印刷費、前年比4万5360円ほど増でございます。これは、乳幼児医療費の受給者証の課税者分、ひとり親家庭等医療費受給者証の初診分と課税分、それぞれ100枚を印刷するというで、4万5000円ほど増でございます。それから12節 重度心身障害者医療費請求事務取扱手数料でございますが、これの積算基礎といたしましては、調査事務手数料689件の1件あたり79円70銭で計5万4913円、請求事務手数料689件の1件あたり216円で計14万8824円でございます。ひとり親家庭等医療費請求事務取扱手数料でございますが、内訳調査事務手数料87件の1件あたり79円70銭で計6934円、請求事務手数料87件の1件あたり216円で計1万8792円でございます。乳幼児等医療費請求事務取扱手数料11万2000円でございますが、請求事務手数料のみでございます。まず0～6歳が212件の1件あたり216円で計4万5792円、6～12歳が195件の1件あたり216円で計4万2120円、12～15歳が107件の1件あたり216円で計2万3112円を計上させていただきました。20節 重度、ひとり親、乳幼児等は、平成26年9月までの実績で計上したところでございます。なおひとり親家庭等医療費については、外来分と入院分がございまして、入院分は、一括40万円を見込んだところでございます。

6目 後期高齢者医療費、本年度3566万1000円、前年比699万2000円の増でございます。19節 療養給付費負担金、これは後期高齢者給付見込額の12分の1を市町村一般会計で負担するものでございます。28節 繰出金1159万7000円でございますが、これについても特別会計のところで詳

しく申し上げますが、内訳は、一般管理費と総務費分でございますが、これが21万3000円、特別会計健診事業費分、検診や人間ドックに91万9000円、後期高齢者医療広域連合事務費の繰出金131万円、保険基盤安定分915万5000円でございます。

以上2款 総務費、3款 民生費の説明を終わらせていただきます。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。これから質疑に入ります。

それでは事項別明細書歳出79ページから質疑を受けます。

79ページ、80ページのうち、住民課分について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 83ページ、84ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 85ページ、86ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 87ページ、88ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 89ページ、90ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 97ページ、98ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 99ページ、100ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 103ページ、104ページについて質疑ありませんか。

○8番（篠原正治君） 委員長、8番。

○委員長（齋藤雅文君） 8番、篠原委員。

○8番（篠原正治君） 3款1項5目 医療給付費

重度心身者についてお聞きします。難病の通院費等の関係予算はないのですか。

○住民課長（村上悟君） 住民課長。

○委員長（齋藤雅文君） 住民課長。

○住民課長（村上悟君） 難病については、保健福祉課管轄ということになります。

○委員長（齋藤雅文君） 他に103ページ、104ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） それでは2款 総務費、3款 民生費、全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） これで2款、3款の質疑を終わります。

次に4款 衛生費の説明を願います。

- 住民課長（村上悟君） 住民課長。
- 委員長（齋藤雅文君） 住民課長。
- 住民課長（村上悟君） ご説明申し上げます。

事項別明細書歳出 111 ページ、112 ページをお開き願います。

4 款 1 項 4 目 診療所費の住民課分では 82 万 9000 円、前年比 32 万 9000 円の減でございます。11 節 消耗品費、前年比 39 万 3750 円の減となっております。これについては、昨年、バスの夏タイヤの更新をいたしました。その分が皆減となったことが要因です。

5 目 環境衛生費 285 万 8000 円、前年対比 342 万 1000 円の減でございます。11 節で昨年、特別修繕費で火葬炉の修繕 90 万 7200 円がございました。これが皆減となっております。

2 項 1 目 塵芥処理費 2863 万 3000 円、前年比 322 万 7000 円の減でございます。7 節 臨時雇賃金 837 万円でございますが、前年比 130 万 2000 円の増でございます。ゴミの収集業務を高齢者事業団に委託をしていたところでございますが、高齢者事業団の人材が確保できないということで、本年委託契約ができないこととなりました。独自に臨時雇いで、2 名が来ていただけということで賃金に組んだところでございます。8 節 報償費、前年比 11 万円の増についても同じ理由でございます。11 節 修繕料、前年比 96 万 6000 円の増でございます。主なものは、タイヤショベルの定期点検は農協機械センターで実施していたところですが、機械センターの施設基準が適合していないということで、本年から農協では受けられないことになりました。これによりまして、定期検査を旭川まで出すと、その搬送料が 9 万 9000 円ほどになります。その分で 46 万 6000 円ほどの増となったところでございます。その他に一般廃棄物最終処分場の案内標識の取り替えで 12 万 9600 円、産業廃棄物処分場の案内標識の設置で 23 万 2200 円、この両方については総合振興局からの指導により、取り替え設置を行うものでございます。13 節 昨年、ゴミ収集業務委託料を高齢者事業団に委託していたものが 149 万 6000 円分あったのですが、この分が皆減になったものでございます。また節はございませんが、15 節 工事請負費で昨年、最終処分場の屋上防水改修工事 198 万 7200 円ほどがございましたが、これが終了いたしましたので皆減となりました。

2 目 し尿処理費 368 万円、前年比 379 万 5000 円の減でございます。19 節 北空知衛生センター組合負担金 118 万 6000 円、前年比 407 万 5000 円の減でございます。起債の償還が終了したことで減になったものでございます。

以上、4 款 衛生費のご説明を終わります。

- 委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。これから質疑に入ります。

それでは事項別明細書歳出 111 ページから質疑を受けます。

111 ページ、112 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

- 委員長（齋藤雅文君） 113 ページ、114 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

- 委員長（齋藤雅文君） 115 ページ、116 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

- 委員長（齋藤雅文君） 117 ページ、118 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） それでは4款 全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） これで4款の質疑を終わります。

次に8款 土木費の説明をお願いします。

○住民課長（村上悟君） 住民課長。

○委員長（齋藤雅文君） 住民課長。

○住民課長（村上悟君） ご説明申し上げます。

事項別明細書歳出143ページ、144ページをお開き願います。

8款4項1目 住宅管理費1028万5000円、前年比1284万1000円の減でございます。本年、骨格予算ということが大きな要因でございますが、昨年より違った点についてご説明いたします。11節 修繕料、前年比329万6000円の減でございます。本年骨格予算ということで、一般修繕のみの予算付けとさせていただきます。ここにございませませんが、15節 工事請負費、昨年、旭団地の解体工事257万1000円、カタクリの屋上防水改修工事412万6000円がございました。この分が皆減となっております。ここにございませませんが18節 備品購入費で、ナナカマドの石油ストーブの更新、このうち10戸分だけを計上させていただきました。154万6000円ほどありましたが、残り10戸分ありますが、申しあげましたとおり骨格予算ということでその分は省かせていただきました。

2目 住宅建設費2億4469万円、前年比2億4231万4000円の増でございます。13節 公営住宅わかば団地建築監理業務委託料、本年2棟8戸を予定してございます。その分の監理委託料でございます。昨年、わかば団地の実施設計業務委託料180万円、あおさぎ団地の実施設計委託業務129万6000円ございましたが、皆減となっております。15節 工事請負費で公営住宅わかば団地の建設工事2棟8戸分、2億3712万円を計上させていただきました。わかば団地の建設工事の計上については、骨格予算で計上しなければ時期的に間に合わないのので載せさせていただいたものでございます。それに関連し、公営住宅わかば団地の建設地の地下埋設物の除去、処理工事に267万9000円を計上させていただきました。ただ皆様にお話ししていたのは、この他に朱鞠内のアオサギ団地を今年建設予定ということでお話しさせていただきましたが、実は社会資本整備交付金を受けることとしていますが、全道的に需要が多く交付金額を抑えられています。いわゆる薄められてきたということです。この額がまだ確定していません。3200万円ほどから6900万円ほどの幅でどれほどになるかということです。例えば3200万円ほどしか出ないとすれば、申しあげました、わかば団地に2棟8戸と申しあげましたが、1棟4戸まで減らす可能性を含んでいるということでご理解いただきたいと思っておりますし、あおさぎ団地については、現在、みゆき団地の空き公営住宅がございまして。昨年朱鞠内を出られた方の家が貸し出しということで行っていますので、本年どうしても建設をしなければならないということでもないという判断をさせていただきました。これは自治区長さんにもお話しさせていただいています。本年の予算からは、あおさぎ団地は削らせていただいて明年に回させていただくという計画をさせていただいています。22節 移転補償金174万1000円でございますが、これはわかば団地2棟8戸分の移転補償金を計上させていただいています。この移転補償については、緑ヶ丘団地の建かえということで、基本的には緑ヶ丘から移っていただく移転補償費です。ただ緑ヶ丘団地の方が動かないとすると、他の団地の方にお声がけをさせていた

できます。それも最終的には緑ヶ丘団地から、間を挟んで移転していただくということの解釈でありますので、それについても対象とするものです。

以上で説明を終わります。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。これから質疑に入ります。

それでは事項別明細書歳出 143 ページから質疑を受けます。

143 ページ、144 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 145 ページ、146 ページについて質疑ありませんか。

○2番（小関和明君） 委員長、2番。

○委員長（齋藤雅文君） 2番、小関委員。

○2番（小関和明君） 8款4項2目 15節 公営住宅わかば団地建設工事

公営住宅わかば団地建設工事が、新年度の予算に出されています。それと同時に建設にあたって、緑ヶ丘団地の入居者を優先的に移動してもらおうということで、緑ヶ丘団地に生活されている人たちに今後はどうなるのかという説明をされているのか、確認させて下さい。

○住民課長（村上悟君） 住民課長。

○委員長（齋藤雅文君） 住民課長。

○住民課長（村上悟君） 昨年11月になりますが、本年建設のわかば団地1棟4戸分ですが、ここにも移っていただかなければならないということで、その時に緑ヶ丘団地に入居されている方に通知をさせていただいて、説明をさせていただいたところであります。

○委員長（齋藤雅文君） 他に145ページ、146ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） それでは8款 土木費、全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） これで8款の質疑を終わります。

これで住民課所管の質疑を終わります。

暫時休憩いたします。

休憩 午前11時02分（住民課長・住民課主幹・住民課主幹：退席）

再開 午前11時12分

◎保健福祉課所管の審議

出席者：町長・副町長・保健福祉課長補佐・すこやか保健係長・しあわせ福祉係長・介護保険係長

○委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を解いて審査を続けます。

保健福祉課所管の3款 民生費の説明をお願いいたします。

○保健福祉課長補佐（木下八代恵君） 保健福祉課長補佐。

○委員長（齋藤雅文君） 保健福祉課長補佐。

○保健福祉課長補佐（木下八代恵君） ご説明申し上げます。

事項別明細書歳出 97 ページ、98 ページをお開き願います。

3款1項1目 社会福祉総務費、本年度6768万3000円、前年比521万2000円の減です。

2目 老人福祉費、本年度6815万8000円、前年比1798万6000円の減です。

3目 障害者福祉費、本年度5038万5000円、前年比45万1000円の増です。

7目 保健福祉センター管理費、本年度2882万6000円、前年比82万7000円の減です。

2項1目 児童福祉総務費、本年度1663万6000円、前年比49万7000円の減です。

2目 児童扶助費、本年度3938万2000円、前年比368万9000円の減です。減額の要因は20節 保育所運営費、児童手当費の減額によるもので、いずれも児童数の減少が理由です。

3項1目 災害救助費については科目存置です。

3款 民生費についての説明は以上です。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。これから質疑に入ります。

それでは事項別明細書歳出 97 ページから質疑を受けます。

97 ページ、98 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 99 ページ、100 ページについて質疑ありませんか。

○委員長（齋藤雅文君） 3款1項2目 老人福祉費

前年比 1798 万 6000 円の減になっている説明をお願いします。

○保健福祉課長補佐（木下八代恵君） 保健福祉課長補佐。

○委員長（齋藤雅文君） 保健福祉課長補佐。

○保健福祉課長補佐（木下八代恵君） 昨年度まで、19 節に北部地域包括ケアセンター管理運営補助金 1825 万 9000 円がありました。これは地域創生の補助金であてがうことになりまして、それが減額の主な要因になります。

○委員長（齋藤雅文君） 他に 99 ページ、100 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 101 ページ、102 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）



- 委員長（齋藤雅文君） 103 ページ、104 ページについて質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 105 ページ、106 ページについて質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 107 ページ、108 ページについて質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） それでは3款 民生費、全般について質疑ありませんか。

○8番（篠原正治君） 委員長、8番。

○委員長（齋藤雅文君） 8番、篠原委員。

○8番（篠原正治君） 老人福祉か障害者福祉かわかりかねたのでお聞きしたいと思います。

先ほど、電気料金の値上げで16.2%、これが一般家庭も同じ率で上がっているわけですが、その老人が入居しているナナカマド、カタクリあたりはエレベーターも使っているということで、非常に負担増にあえいでいると、どこまでが事実かわかりませんが、冬の町内会費に含めて、公用の電気料を納めているそうですけれども、それで、町内会費が8000円くらいにも上るということで悲鳴を上げています。そういう住宅に限らず一般家庭での高齢者や年金暮らし、ひとり暮らしには大変な思いをしているわけです。町長にお聞きしますが、燃料が上がったときには、除雪費を増やしたということからすれば、町民生活にこれだけの影響を与える電気料の値上げ、窮とした生活をしている人になんらかの手当てがあってもいいかもという思いがするわけですが、どのようなものでしょうか。

○町長（守田秀生君） 町長。

○委員長（齋藤雅文君） 町長。

○町長（守田秀生君） 電気料金の値上げによりまして、公共施設の電気料金が16%ほど上がるというお話しでございまして、家庭の料金と若干仕組みが違う面もございまして、相当の負担増が生じているということは承知しています。12月の議会の折にも、灯油代の追加支給等についての議論もしていただいたところでございまして、100円を切っているということもございまして、それらについては様子を見るという答弁をさせていただきました。また電気代の値上げ等について、公営住宅の関係ですが、1戸あたりの値上げ、額についても試算はさせていただいて計算したところ、電気以外の暖房、灯油等の経費との逆転現象にはなっていないということで、今のところ静観させていただくということでご答弁をしたと思っておりますが、今後これが実際に長期間にわたって負担が増えていくということも考えられますので、電気料金の推移を見ながら、また住民の皆さんのご負担の実態を調べながら、行政の手当てができるかどうか、よく検討させていただきたいと思っておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

○委員長（齋藤雅文君） 他に3款 全般質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） これで3款の質疑を終わります。  
次に4款 衛生費の説明をお願いします。

○保健福祉課長補佐（木下八代恵君） 保健福祉課長補佐。

○委員長（齋藤雅文君） 保健福祉課長補佐。

○保健福祉課長補佐（木下八代恵君） ご説明申し上げます。

事項別明細書歳出 109 ページ、110 ページをお開き願います。

4款 1項 1目 保健衛生総務費、本年度1億4557万4000円、前年比194万8000円の減であります。  
7節 臨時雇賃金では、昨年育児休業を取得した保健師の代替要員として、臨時保健師を雇用して  
いましたが、その分で143万3000円の減となります。

2目 予備費、本年度475万円、前年比31万9000円の減です。13節 各種予防接種委託料145万300  
0円ですが、平成26年10月から定期予防接種とされた水痘18万8000円と、高齢者肺炎球菌16万  
円を含んでいます。ちなみに高齢者肺炎球菌が定期接種となった対象者は、平成27年度中に65  
歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳以上になる方が対象となります。19節 肺炎球  
菌予防接種助成金27万2000円ですが、これは高齢者肺炎球菌予防接種のことで、肺炎球菌には小  
児と高齢者がありまして、これは高齢者肺炎球菌予防接種のことですけれども、これまで予防接種  
にかかる8000円のうち6000円を助成していましたが、昨年この予防接種が定期化されたことにより、  
70歳以上でその年の対象にならない方には全額助成するというものとしたものです。

3目 健康推進費、本年度451万7000円、前年比24万5000円の減です。

4目 診療所費、本年度3831万4000円、前年比756万5000円の減です。12節 検査手数料ですが、  
新しい診療所の建設確認申請料14万円、適合性判定申請料14万円、完了検査申請料14万円を含むも  
のです。

4款 衛生費の説明は以上です。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。これから質疑に入ります。

それでは事項別明細書歳出 109 ページから質疑を受けます。

109 ページ、110 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 111 ページ、112 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 113 ページ、114 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） それでは4款 全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） これで4款の質疑を終わります。

これで保健福祉課所管の質疑を終わります。

暫時休憩いたします。

休憩 午前 11 時 25 分（保健福祉課長補佐・すこやか保健係長  
しあわせ福祉係長・介護保険係長：退席）  
再開 午後 1 時 09 分

◎産業課所管の審議

出席者：町長・副町長・産業課長・農業委員会事務局長

○委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を解いて審査を続けます。

産業課所管の 2 款 総務費、5 款 労働費、6 款 農林水産業費、7 款 商工費を一括して審査を行います。説明をお願いいたします。

○産業課長（大野克彦君） 産業課長。

○委員長（齋藤雅文君） 産業課長。

○産業課長（大野克彦君） ご説明申し上げます。

事項別明細書歳出 83 ページ、84 ページをお開き願います。

2 款 1 項 8 目 町有林造成費、本年度18万円、前年比23万2000円の減額です。町有林の経費でございますが、12節 森林保険料、昨年ありました13節 町有林下刈事業の減によるものでございます。

事項別明細書歳出 119 ページ、120 ページをお開き願います。

5 款 1 項 1 目 労働費、本年度16万円、前年比3000円の減額です。

○農業委員会事務局長（尾島昭君） 農業委員会事務局長。

○委員長（齋藤雅文君） 農業委員会事務局長。

○農業委員会事務局長（尾島昭君） ご説明申し上げます。

事項別明細書歳出 121 ページ、122 ページをお開き願います。

6 款 1 項 1 目 農業委員会費、本年度692万4000円、前年比82万3000円の減であります。主な要因は 7 節 臨時雇賃金34万3000円ですが、女性臨時職員 1 名分の補助金充当分の産業課との調整によるもので、農業委員会としては、前年比12万1000円の減で計上させていただいています。13節 地図情報修正入力業務委託料33万5000円ですが、この業務は毎年度末に実施しています、地籍図の修正業務の委託であります。本年度から委託業者を変更することに伴い、前年比69万5000円の減額で計上させていただいています。

○産業課長（大野克彦君） 産業課長。

○委員長（齋藤雅文君） 産業課長。

○産業課長（大野克彦君） ご説明申し上げます。

2 目 農業総務費、本年度33万2000円、前年比101万9000円の減額です。昨年は 8 節 報償費で、

産業貢献者章製作費102万円がありましたので、大きな減額となっております。

3目 農業振興費、本年度1億949万4000円、前年比1987万2000円の増額でございます。13節 農業振興地域整備計画作成業務委託料400万7000円を計上してございます。この地域整備計画につきましては、年明け1月の臨時議会で補正をさせていただきましたけれども、当初1年間で計上させていただきましたが、業務内容の見直し等があり、3年計画に変更いたしましたので、27年度は2年目ということで計上させていただいています。19節 環境保全型農業直接支払補助金につきましては、新たな事業の取り組みがあるということで、昨年よりも1900万円ほどの増額となっております。昨年については町費、道費のみの計上でありましたが、27年度からは国費50%分も合わせて、本町の会計を通ることで増額となっております。全国農村交流ネット21 北海道の集い補助金17万円ですが、過去北海道開発局におられました長谷山 俊郎氏の呼びかけによって設立された団体がありました。その団体は、全国的な組織でありまして、地域の農業の情報交換をして活力を生み出していこうということで設立されました。本町におきましては、平成17年に第11回交流会を開催していきまして、その後、組織が改変されまして、24年度から北海道のみということで、集まりが続いています。24年度は中富良野町、25年度は北竜町、26年度は標茶町で、それぞれ持ち回りで開催していましたが、27年は幌加内町という要請がありましたので、それに向け進めるということで考えています。当初4月から案内の事務等がありますので、当初予算で計上させていただきました。実行委員会を作りまして、役場が中心になろうかと思いますが、そこに補助を行うということで、補助金の内容としましては、講師の謝礼、事務費等を考えているところであります。多面的機能支払交付金7587万9000円の皆増となっております。昨年12月に補正をさせていただきましたけれども、幌里、平和、幌加内ということで3地区を立ち上げしてございます。これを当初から計上することで、これにつきましても、国、道、町費分の100%を計上していますので、このような多額の増額になってございます。その他に昨年あったものとしましては、中山間地域等直接支払補助金がありますが、26年度で3期目が終わりましたので、27年度から新しい第4期目ということになります。制度、取り組み内容がはっきりした時点で予算計上したいと考えています。もう一点、昨年、農業振興奨励補助金2400万円を当初予算で計上していましたが、政策的な予算の位置づけをしまして、町長選改選後、肉付けをして補正で計上したいと考えてございます。

○農業委員会事務局長（尾島昭君） 農業委員会事務局長。

○委員長（齋藤雅文君） 農業委員会事務局長。

○農業委員会事務局長（尾島昭君） ご説明申し上げます。

6款1項4目 農地保有合理化事業費2万9000円、前年比2000円の減であります。

○産業課長（大野克彦君） 産業課長。

○委員長（齋藤雅文君） 産業課長。

○産業課長（大野克彦君） ご説明申し上げます。

5目 地力維持増進施設運営費、本年度538万4000円、前年比49万円の増額でございます。11節 消耗品費でドーザーのタイヤチェーン32万円を購入することが増額の要因です。

6目 農業技術センター費、本年度1911万1000円、前年比260万5000円の減額でございます。昨年、

特別修繕料で試験圃場の暗渠工事190万円、備品購入費で分析天秤48万2000円があった分が、今年減額となっております。

7目 農業担い手対策費、本年度23万1000円、前年比29万7000円の減額でございます。19節 農家後継者補助金30万円を政策的予算として位置づけしていますので、この分が減額となっております。

8目 経営所得安定対策費、本年度179万円、前年比12万9000円の減額、経営所得安定対策の事務費的経費を計上しています。

9目 畜産費、本年度59万円、前年比2000円の増額でございます。

10目 農業金融対策費、本年度79万3000円、前年比7万1000円の減額でございます。

11目 農業活性化センター運営費、本年度760万1000円、前年比35万3000円の増額でございます。アグリ施設の管理運営費でございますが、電気料が実績に合わせて20万円ほど増額となっております。

12目 土地改良施設維持管理費、本年度903万2000円、前年比1545万8000円の減額でございます。雨煙内ダム等を管理する基幹水利事業、その他の国営造成施設を管理していました、国営造成施設管理体制整備事業ということで、大きく2つの事業からなっております。そのうちの国営造成施設管理体制整備事業につきましては、第3期目、平成26年度をもって、目標を達成したということで、事業が完了するということになっています。それに伴いまして、1500万円程度の減となっておりますけれども、13節 委託料で国営造成施設管理体制整備促進事業委託料43万円の減、19節 国営造成施設管理体制整備促進事業補助金1570万2000円の減となったことが大きな要因でございます。

13目 土地改良事業費、本年度4552万6000円、前年比6245万4000円の減額でございます。土地改良に関わる部分ですが、副町長の予算説明でございますけれども、中部地区の経営体ですが、畑地総合整備西部地区の予算計上した数字が固まっていなかったため、大幅の減額となっております。これらにつきましては、数値確定次第、補正にて計上したいと考えているところでございます。

2項1目 林業費、本年度31万4000円、前年比133万2000円の減額でございます。前年度、未来につなぐ森づくり事業ということで、当初予算を計上していましたが、本年度は実施しないということで減額となっております。

3項1目 水産業振興費、本年度93万1000円、前年比3万2000円の減額でございます。

7款1項1目 商工振興費、本年度2532万円、前年比786万1000円の減額でございます。19節にありました、プレミアム付き商品券900万円ですが、26年度の補正予算ということで、前倒しをしたため、前回議決いただいた分が大きな減額となっております。また昨年12月に新設いたしました、商工振興奨励補助金につきましては、事業を取りまとめて、今後、補正にて計上していきたいと考えてございます。

2目 観光費、本年度9420万5000円、前年比1112万7000円の減額でございます。昨年、特別修繕350万円、工事請負費、ルオント2階の修繕等に860万円がありましたので、大幅な減額となっております。

3目 まどか運営費、本年度2000万円、前年比134万円の減額でございます。昨年、特別修繕で渡り廊下等の外壁塗装等200万円がございましたので、それによる大幅な減額となっております。以上で説明を終わります。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。これから質疑に入ります。

それでは事項別明細書歳出 83 ページから質疑を受けます。

83 ページ、84 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 119 ページ、120 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 121 ページ、122 ページについて質疑ありませんか。

○6 番（春名久士君） 委員長、6 番。

○委員長（齋藤雅文君） 6 番、春名委員。

○6 番（春名久士君） 経営所得安定対策について、今年から正規な面積交付になったと思いますが、これは町がどこまで関わってくるのでしょうか。

○産業課長（大野克彦君） 産業課長。

○委員長（齋藤雅文君） 産業課長。

○産業課長（大野克彦君） お答え申し上げます。

面積の確定の方法ということで、今までは前年の反収から北海道の平均で割り返して試算をしていましたが、27 年度からは、実測によるということになりましたので、それを受けまして、昨年、産業課職員ではかろうということで、測量器を 4 台買いまして、秋から実際にはかっています。共済さんに入っているところはそのデータを使わせていただきまして、共済に入っていないところについて、職員ではかろうということでございます。今段階で確定しているものは、農家さんとやりとりをして、最終的な確認をとりたいと思っています。また作付けをするときに変わる部分が出てくるかと思いますが、その都度、我々のほうで測量を行って確定し、6 月末までには最終的な決定をしたいと考えてございます。

○委員長（齋藤雅文君） 他に 121 ページ、122 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 123 ページ、124 ページについて質疑ありませんか。

○3 番（中川秀雄君） 委員長、3 番。

○委員長（齋藤雅文君） 3 番、中川委員。

○3 番（中川秀雄君） 6 款 1 項 3 目 農業振興費

13 節 農業振興地域整備計画作成業務委託料について、昨年も 700 万円ほどありましたが、内容についてお知らせ願います。

○産業課長（大野克彦君） 産業課長。

○委員長（齋藤雅文君） 産業課長。

○産業課長（大野克彦君） 農業振興地域の整備に関する法律、通称、農振法に基づきまして、地域の農業区域を定めて、将来像をどのようにしていこうということで定められる計画で位置づけされています。この計画は昭和48年に定められましてから、大幅な見直しがされていないということと、その当時の情報でありますので、紙媒体で図面、地番が整備されているということがありましたので、今回、区域、地番とも突合して、図面も合わせて電子化にしたいということで、作業を委託しているところであります。昨年については、1年、2年になるかもわかりませんが、という説明をさせていただいたのですが、700万円程度の予算で計上させていただきましたが、その後、詳細を詰めていく段階で、また今回農業委員会で農地台帳を変更することもありまして、そのの業者等々とタイアップした方が、情報がやりとりできる、それから、1箇所の修正で他の業務も修正できるということがありましたので、その方が有利であり効率的ということで、3ヵ年で計上することと考えてございます。今年度につきましては、現況、地目の確認、それから現況のデータ化、そういったことの作業を進めていくという計画であります。

○3番（中川秀雄君） 委員長、3番。

○委員長（齋藤雅文君） 3番、中川委員。

○3番（中川秀雄君） 今年で最終年度になるのですか。

○産業課長（大野克彦君） 産業課長。

○委員長（齋藤雅文君） 産業課長。

○産業課長（大野克彦君） 来年の28年度までの計画です。

○委員長（齋藤雅文君） 他に123ページ、124ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 125ページ、126ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 127ページ、128ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 129ページ、130ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 131ページ、132ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 133ページ、134ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 135ページ、136ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 137ページ、138ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 2款、5款、6款、7款 全般について質疑ありませんか。

○3番（中川秀雄君） 委員長、3番。

○委員長（齋藤雅文君） 3番、中川委員。

○3番（中川秀雄君） 6款1項6目 農業技術センター費

技術センターの関係について、予算書の中では126ページにありますが、臨時雇賃金ということで、確か4人分という説明だったかと思います。技術センターの職員体制を見ていますと、かなり入れ替わりがたくさんあるということで見受けられます。研究テーマ自体も、過去においては、いろいろな研究テーマを持ちやっていたと記憶していますが、最近ではソバに特化されている面も正直見受けられます。それで2つほどお伺いしたいのですが、この職員体制について、例えばキャリアで言いますと、大学院卒で来ているわけですが、長く留まって研究をしてくださるというよりは、1年未満で辞めていく方もいらっしゃるということなので、もう少し職員の一定の成果を上げ、研究員として成果を上げるとするならば、それなりの待遇も必要なのではないかと。できれば正職員化を考えていく必要もあるのではないかと思います。また前段に言いました研究テーマについて、ほとんどは技術センターの内部の職員の中だけでテーマを絞り込んだり、どういう手法でやるかということもやっているようにも見えます。結果的には、ほとんどソバに特化した状況になっています。今の幌加内町の農業が抱えている諸問題から言えば、もっといろいろな研究等も必要なのではないかと思います。ただ今のままの体制でやっていくとなると、そこまでやれるのかという思いもありますし、技術センターの運営自体を協議するような機関も職員任せにするのではなく、必要なのではないかとされています。その辺についてどのように考えているのかお伺いしたいと思います。

○産業課長（大野克彦君） 産業課長。

○委員長（齋藤雅文君） 産業課長。

○産業課長（大野克彦君） 農業技術センターの体制ということでありまして、実際に最近につきましては入れ替わりが激しかったということで、一応農業系の大学をターゲットに募集していますが、それでもなかなか揃わなかったということが現状でございます。この4月から現在の予定ではまた募集を行っていますが、臨時研究員の4名については、揃うということで予定しています。待遇ということで、本職員につきましては、入った時点からずっと同じような給与ということで、実際にきているところでありまして、実際にいる方も9年いる方については今限りで退職希望ということで、進めているところでございます。業務的には、それに見合うような業務ということで、今までは進めているのが実態でございます。何年勤めても金額が変わらないということで、長く勤められる状態であったのかと申しますと、そういった状態ではないのかと感じているところでございます。そういった中で、数年前に議会からも質問がありましたけれども、その時には現行のまま維持していきたいということで、町としては答弁をさせていただいたかと思っております。今後につきましては、組織化できた当時と違いますので、その辺については、また今後に向けて、関係機関とも協議して検討したいと考えているところでございます。それと併せまして、研究テーマにつきましても、自分たちで目的を設けて、研究して、場合によっては3年間かけてやっている場合もございます。ただ実態としましては、毎年、関係団体が集まりまして、「こういった研究をします」



「こういった体制でやっていきます」という協議をしていました。その中では最近では、こんな肥料を作ったので試してくれないかとか、そばの部分も多いのは実態ですが、それも先ほども申し上げたとおり、関連しますが、組織ができた当時と若干農業行政も変わっていますので、そういったことについては、いろいろな広い意見を聞きながら今後対応していけるように、検討していきたいと思いますので、ご理解をいただきたいと思います。

○委員長（齋藤雅文君） 他に全般について質疑ありませんか。

○7番（市村裕一君） 委員長、7番。

○委員長（齋藤雅文君） 7番、市村委員。

○7番（市村裕一君） 道の駅について質問します。決算の時にも質問をしたのですが、公社に委託しているということで、地元と協議しながら来年度に向けて指導していきたいと、課長が答弁したのですが、新年度に向けて、どのようなことで話し合いをして、指導していくのか、その辺を聞かせていただきたく思います。

○産業課長（大野克彦君） 産業課長。

○委員長（齋藤雅文君） 産業課長。

○産業課長（大野克彦君） 決算審査の時にもお答えしていますが、その後、公社さんともお話しさせていただきました。地元の商品が売っていないということも、公社にも言っていますが、何年か前には応募したが、なかなか集まらなかったという話がありましたが、また改めて地元の商品を使うようにということでは、お話しをさせていただきました。それから管理体制につきましても、草刈等、景観に欠けるものがありましたので、それにつきましても、新年度改めてしっかりするよう、指導しているところであります。また体制的に前は支配人がいたのですが、今はいなく、そういったところで、漏れている部分があるのかということがありますが、それにつきましても、責任を持てる方を配置するなり、位置づけをして欲しいということで、お話しをさせていただいていますので、改善に向け併せてご理解をいただきたいと思います。

○4番（中村雅義君） 委員長、4番。

○委員長（齋藤雅文君） 4番、中村委員。

○4番（中村雅義君） 昨年度まで、中山間直接払いの中で、協議会を作りながら大きな農道整備や他の整備事業をやっていましたが、今回は多面的機能に移るということで、そういう中で、例えば砂利敷き、補修等はどのようなことで使えるのかをお聞きします。

○産業課長（大野克彦君） 産業課長。

○委員長（齋藤雅文君） 産業課長。

○産業課長（大野克彦君） 中山間事業はなくなりませんので、そのまま制度は残ってきます。現在第4期目になって、詳しい内容がまだ決まっていないということと、取り組みの形態がまだ決まっていないということで、今回は計上していません。今まで中山間で行っていた、自治区で農道整備だとかが、全て多面的に移ったということで、中山間としては残っています。

○委員長（齋藤雅文君） 他に全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 質疑なしと認めます。

これで産業課所管の質疑を終わります。

暫時休憩いたします。

休憩 午後 1時42分（産業課長・農業委員会事務局長：退席）

再開 午後 1時44分

#### ◎建設課所管の審議

出席者：町長・副町長・建設課長・建設課長補佐

○委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を解いて審査を続けます。

建設課所管の8款 土木費、11款 災害復旧費を一括して審査を行います。説明をお願いいたします。

○建設課長（竹谷浩昌君） 建設課長。

○委員長（齋藤雅文君） 建設課長。

○建設課長（竹谷浩昌君） ご説明申し上げます。

事項別明細書歳出139ページ、140ページをお開き願います。

8款1項1目 土木総務費、予算額154万7000円、前年比12万8000円の増であります。9節 特別旅費11万8000円ありますが、名寄遠別線建設促進期成会の中央要望に随行する職員1名分の旅費であります。

2項1目 道路橋梁維持費、予算額1億9922万5000円、前年比1301万2000円の減であります。11節 修繕料1320万8000円ありますが、建設機械の車検整備費615万1000円、スノーポールの修理費90万円、年間の道路維持補修費580万円、除雪センターオーバースライダー修理費35万6400円の内訳となっています。特別修繕料182万6000円ありますが、町道雨煙内線の歩道復旧工事で昨年廃止しました、町道雨煙内支線と町道雨煙内線との交点の車道を歩道へ復旧するものであります。この復旧箇所については、昨年公営住宅わかば団地建設工事の車両出入口として使用していたことから、復旧ができず、本年度工事を施工することとし、予算計上したところであります。18節 除雪機械購入費4023万2000円ありますが、これは平成11年度購入のタイヤドーザー1台の更新で、社会資本整備総合交付金での更新を予定しており、交付決定前ではありますが、納期に6か月ほどかかることから、除雪シーズンに間に合うように、交付決定後速やかに事業に着手するため、当初予算で計上したところであります。

2目 道路新設改良費、予算額1927万6000円、前年比1億93万4000円の減であります。15節 四丁目線側溝改修工事1345万7000円ありますが、昨年度、側溝の流末にあります旧庁舎、焼却所、公

衆便所解体工事の関連によりまして、工事の実施を延期していましたが、そば祭り会場の側溝ということもありまして、そば祭り開催前に工事を完了いたしたく、当初予算で計上したところであります。下幌加内線側溝改修工事317万6000円でありますが、現状の側溝が素堀り側溝のため、流水によりまして、隣接農地の町道の法面が侵食され、崩れてきていることから、早急に対応いたしたく予算計上したところであります。

3項1目 河川改修費、予算額362万6000円、前年比4万9000円の増であります。

4項1目 住宅管理費の建設課所管分の説明をいたします。19節 持ち家建設促進奨励金250万円でありますが、一般住宅100万円、北方型住宅150万円を予定し、本年度予算を計上したところがございます。この制度につきましては、本年度終了ということでございます。

5項1目 簡易水道費、予算額3899万6000円、前年比113万7000円の減であります。28節 簡易水道事業特別会計繰出金3899万6000円でありますが、繰出基準内分2027万3000円、繰出基準外分1872万3000円の内訳となっております。

2目 飲料水対策費、予算額90万円、前年同額の予算を計上しています。

6項1目 下水道費、予算額3945万3000円、前年比142万8000円の減であります。28節 下水道事業特別会計繰出金3945万3000円でありますが、繰出基準内分2855万2000円、繰出基準外分1090万1000円であります。

次に事項別明細書歳出175ページ、176ページをお開き願います。

11款1項1目 河川道路災害復旧費、予算額77万1000円、前年比76万6000円の増であります。13節 早雲内川河岸災害復旧調査設計業務委託料76万7000円でありますが、昨年8月4、5日の大雨によりまして、護岸ブロックが倒壊し、応急処置にて対応していましたが、早雲内川河岸の本格的な復旧工事を実施するための調査設計業務であります。なおこの設計業務が終了次第、復旧工事に向けての補正予算を計上したいと考えています。

以上で説明を終わります。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。これから質疑に入ります。

それでは事項別明細書歳出139ページから質疑を受けます。

139ページ、140ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 141ページ、142ページについて質疑ありませんか。

○7番（市村裕一君） 委員長、7番。

○委員長（齋藤雅文君） 7番、市村委員。

○7番（市村裕一君） 8款2項1目 13節 町道除雪業務委託料

除雪の民間委託について、昨年、いろいろと議論してきました。27年度に向けて、第7次総合振興計画の中でも話がありましたが、根本的な幌加内の町の除雪の見直しをしていきたいと、そういうことを課長から随分言われていましたが、27年度に向けて、課長はどういう考えがあるのか、また今年は雪が少なく、そういう議論もなかったのですが、もし多い場合に対応をどうするのか、その辺について説明を聞きたいと思います。

○建設課長（竹谷浩昌君） 建設課長。

○委員長（齋藤雅文君） 建設課長。

○建設課長（竹谷浩昌君） 昨年、民間委託の件で議論させていただきました。27年度につきましては、昨年度、町民の皆様からご意見をいただき、直営の除雪センターを残して、しばらくはそのままということで、一応進めるということで、26年度補正予算で対応させていただきました。27年度については、まだ議論ができていませんので、今までと同じように対応していきたいと、予算を計上したところです。今後については、先日、振興計画のときにも、我々は道路除雪を担当していますというお話しをさせていただきましたけれども、それ以外の議論をしていくということで、お話しをさせていただきましたし、今後幌加内町の雪のことについては、大きな問題ということで、検討をする場面を作って、道路除雪、その他の福祉などもあります、やるということで、まだ決定していませんが、そのような検討をしていくということで考えているところです。27年度については、26年度から継続ということでもあります。もう一つ雪が多かったときにどうするのだというご質問ですけれども、23年、24年と補正予算で対応して除雪委託の不足分、それから町も、排雪ダンプの借上料が多くなり、燃料代等の不足分を補正で対応してきましたけれども、それは今のところそれと同じような対応ということでよろしく願いいたします。

○7番（市村裕一君） 委員長、7番。

○委員長（齋藤雅文君） 7番、市村委員。

○7番（市村裕一君） 建設課と議会とも意見交換をしてきましたが、早い話が一步も進んでいないということが、答えだと思いますが、町長にも聞きたいのですが、町民アンケートを含めた中で、幌加内は雪に対する町民の考え方、ここに住むために、すごく障害になっていますという一つの大きな意見があるのですが、町長も民間委託の時も同席されながらいろいろな議論をされたと思いますが、やはりこういうことは早めに進めていくことが、町民サービスには大切なことだと思いますが、町長の思いをお知らせ下さい。

○町長（守田秀生君） 町長。

○委員長（齋藤雅文君） 町長。

○町長（守田秀生君） 第7次総合振興計画の町民アンケートの中で、実は幌加内町民の生活で一番困難と感じていることが、冬季の除雪の問題ということが数値ではっきり表れています。現在行われている除雪の体制や内容、これらをしっかり洗い出し、道路除雪と合わせて、住民生活と直結する玄関、窓、屋根それらの除雪について、自力除雪困難家庭、特に高齢者世帯ですが、これらの福祉除雪も含めた総合的な、本町の冬期間の除雪のあり方について、27年度に住民の皆さんのご意見を伺う組織を立ち上げて検討するということが、先ほど課長が申し上げたのはそういう趣旨でございまして、28年の冬のシーズンに向け、大いに議論をさせていただきたいし、必要な体制の、いわゆる現状からの転換、あるいは踏み込んだ施策等のあり方について、検討させていただきたいことが、現時点の考え方でございます。

○5番（田丸利博君） 委員長、5番。

○委員長（齋藤雅文君） 5番、田丸委員。

○5番（田丸利博君） 市村委員の関連でお聞きします。

今年の冬は例年にないような降雪量であり、除雪もかなり少なかったと思いますが、これに伴い、毎年予算組みを委託料で組んでいるわけですが、こういうことは実際に出た日数から割り返して、実際に委託料との割合を出して、どれくらいメリットがあったか、また雪が多い年に、排雪のダンプの台数が多いだとか、燃料が高騰しているかなど、そういったバランス的なものは過去の年度から遡って試算されているのでしょうか。

○建設課長（竹谷浩昌君） 建設課長。

○委員長（齋藤雅文君） 建設課長。

○建設課長（竹谷浩昌君） まず予算組みの考え方ですが、27年度の予算、その前の予算も、ですけれども、過去5年間のデータを取り、一番多い年と少ない年をカットした3年間を割り返し、稼働時間から計算し、民間委託の除雪委託料を計算しています。それがベースになります。また単価につきましては、以前にもお話ししましたが、道の単価を採用しています。私ども直営につきましては、毎年の実績で今年はこのくらいということで、燃料の実績ですとか、4名の臨時職員を使っていますが、同じような体制で、あと賃金の単価が変わった場合はその計算もしていくということでやっています。今シーズンは今までにない状況ですけれども、24年、25年前の1991年ごろにこのような状況がありました。この近くで言えば、22年度がかなり少なかったという状況です。メリットは計算していませんが、シーズンが終わってどれだけ稼働したとか、それを来年の28年度に、例えば直営の計算をするときには過去5年間ということでやらせて、いただいています。シーズン委託ですので、国、道の出た時間に対してという積算ではありませんので、過去の実績に基づいて行っているということでご理解をいただきたいと思います。

○委員長（齋藤雅文君） 他に141ページ、142ページについて質疑ありませんか。

○8番（篠原正治君） 委員長、8番。

○委員長（齋藤雅文君） 8番、篠原委員。

○8番（篠原正治君） 8款2項1目 18節 除雪機械購入費

4023万2000円という高額な予算であります。年によっては非常に入札が安かったりということで、補助事業と単費事業との差が、我々素人考えでは、あまりにも大きいのかと思います。課長として、入札者側はそういうことを見越して、言っているのかという気はしますが、同じものを買うわけですから、国の補助があろうがなかろうが、競争入札の原理からすれば、ある程度、平準化された値段で買えるのかという気はするのですが、今までの例を見ると、相当差があるのではないかという気がしますが、いかがでしょうか。

○建設課長（竹谷浩昌君） 建設課長。

○委員長（齋藤雅文君） 建設課長。

○建設課長（竹谷浩昌君） 本年度予定しています、タイヤドーザーの更新であります。ここ数年では添牛内地区の基礎集落圏にタイヤドーザーのロータリー機械付きを入れました。その当時も4000万円ほどの予算であります。27年度の除雪機械購入費で上げています予算でタイヤドーザー一本2636万7000円、その他に改造や、補助対象にならない部分があります。先ほどご説明をしましたが、こちらの方はロータリー付きではありませんが、夏維持の草刈機と一緒に合う形で購入したいということで予算が4000万円ほどということになっています。随分安く購入できる時もあったのではないかとありますが、私たちの予算組みについては、参考見積もりを3社ほどいただき、その中から予算決めています。入札については、過去ではタイヤドーザーが随分入札率が低いというか、安く購入できている状況で、ダンプトラック、ロータリーをこの数年入れていますが、そちらの方はあまり予算より下がるということはない結果でございます。安くできるかということですが、私たちも3社ほどの業者見積もりをとって予算決める中で、その中で一番安く見積もったところで予算組みをしている状況でありますので、よろしくお願いいたします。

○8番（篠原正治君） 委員長、8番。

○委員長（齋藤雅文君） 8番、篠原委員。

○8番（篠原正治君） 除雪機の購入に伴って、古い機械の払い下げについてお伺いします。

非常に高額な修理費をかけて、使用期間が短いのにそれを業者に払い下げていると。購入維持の関係だという説明がありました。新しいのが来るのが間に合わないから補修して、それなりの価格で払い下げたのだということでもありますけれども、私が考えるのに、今までの実績の中で、偏った払い下げでないのかなと。どういうことになっているのか、これも入札になっているのかわかりませんが、幌加内には町道を行っている業者は3社ありますが、それぞれ欲しいと言っているのか、それとも、1社だけが希望してそこに払い下げているのか、公平な競争入札が執行されているのか、当然執行されていると思うのですが、ではあと2社は希望がないのか、そこをお尋ねします。

○建設課長（竹谷浩昌君） 建設課長。

○委員長（齋藤雅文君） 建設課長。

○建設課長（竹谷浩昌君） 除雪機械の購入の後の古い機械の払い下げということですが、補助対象の機械の場合、以前は業者に払い下げではなく、下取りでという方式でしたけれども、平成25年に補助の下取り関係の扱いを、道から通達が来まして、除雪の関係業者に限っては払い下げもいいですよという状況になりました。我々としては、もちろん払い下げですから、他の物品もそうですけれども、希望者を募って、入札ということでやっています。一応過去25年からやっていますけれども、それぞれ除雪を委託している地元の業者3社がそれぞれ参加して、入札をしている状況であります。入札では最低価格を作るのですが、それらについては、下取りの価格、それぞれの業者からとった下取りの価格を参考にそれ以上の金額を入れたところということで、落札している状況でございます。

- 委員長（齋藤雅文君） 他に 141 ページ、142 ページについて質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 143 ページ、144 ページについて質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 145 ページ、146 ページについて質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 175 ページ、176 ページについて質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 8 款、11 款 全般について質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 質疑なしと認めます。  
これで建設課所管の質疑を終わります。  
暫時休憩いたします。

休憩 午後 2 時 0 8 分（建設課長・建設課長補佐：退席）  
再開 午後 2 時 2 0 分

◎教育委員会所管の審議

出席者：町長・副町長・教育長・教育次長

- 委員長（齋藤雅文君） それでは、休憩を解いて審査を続けます。  
10 款 教育費の審査を行います。説明をお願いいたします。

○教育次長（蔵前裕幸君） 教育次長。

○委員長（齋藤雅文君） 教育次長。

○教育次長（蔵前裕幸君） ご説明申し上げます。

事項別明細書歳出 149 ページ、150 ページをお開き願います。

10 款 1 項 1 目 教育委員会費、本年度 205 万 2000 円、前年比 7000 円の増です。

2 目 事務局費、本年度 119 万 5000 円、前年比 183 万 2000 円の減となっています。減額の主な要因につきましては、昨年度、職員配置の減により、臨時職員を持って対応する予算を計上していたところですが、職員の充足により減額となっているところがございます。

3 目 教育振興費、本年度 900 万 9000 円、前年比 14 万 6000 円の減となっております。減額の主な要因でございますが、過日可決されました平成 26 年度補正予算にありました、まち・ひと・しごと創生総合戦略の地域創生先行型のメニューに、スキー学習リフト利用交付金が計上されたことによるものでございます。

4 目 学校営繕費、本年度 336 万円、前年比 31 万 8000 円の減でございます。例年計上しています、一般営繕料 336 万円分でございます。

2項1目 学校管理費、本年度3203万8000円、前年比271万円の減となっております。減額の主な要因でございますけれども、概要で説明したとおり、母子里送迎車購入費の皆減によるものでございます。14節 パソコン借上料102万6000円の計上でございます。このうち幌加内小学校のサーバー機を平成27年度の入れ替えを予定し、予算を計上しているところでございます。

2目 教育振興費、本年度384万2000円、前年比297万円の増でございます。18節 教師用教科書指導書購入費227万2000円の計上でございます。今年度、小学校の教科書が更新されます。これに伴い、教師用指導書の入れ替えを行うものでございます。

3項1目 学校管理費、本年度2392万3000円、前年比2000円の増でございます。14節 パソコン借上料174万5000円の計上でございますが、このうち小学校費同様、幌加内中学校のサーバーの入れ替えを予定しているところでございます。

2目 教育振興費、本年度89万円、前年同額でございます。

4項1目 高等学校総務費、本年度3793万1000円、前年比44万9000円の増となっております。7節 臨時実習助手賃金617万4000円の計上ですが、今年度は一般実習助手1名、情報処理担当者1名、農業実習助手1名の計3名分の計上となっております。

2目 教育振興費、本年度870万4000円、前年比1437万9000円の減となっております。減額の主な要因でございますが、バイオ室の改修工事及びパン製造の備品購入費の皆減によるものでございます。

3目 寄宿舎費、本年度4748万2000円、前年比745万9000円の増となっております。7節 臨時雇賃金418万1000円の計上でございますが、副舎監2名分の計上となっております。前年度補正にて管理人分については、13節 委託料として本年度も計上しているところでございます。13節 管理業務委託料622万1000円の計上でございます。ただいま申し上げましたとおり、管理人1名分と副舎監と教職員で賄っている、夜警業務の不足する分の業務を委託するというので、合わせた計上となっております。調理業務委託料2317万8000円の計上でございますが、食の質の向上を目指すべく、これら充実を図るため、管理費と1食あたりの単価を見直し、27年度予算を計上させていただいているところでございます。

5項1目 学校給食費、本年度3085万7000円、前年比139万9000円の減でございます。11節 特別修繕料98万円の計上でございますが、保健所等の指導により、厨房手洗器の改修を予定させていただいているところでございます。13節 防鼠防虫業務委託料5万9000円ということで新規でございます。衛生管理基準に従い、年2回の予算計上をさせていただいているところでございます。

6項1目 社会教育総務費、本年度599万7000円、前年比241万4000円の減でございます。

2目 公民館費、本年度2013万2000円、前年比512万1000円の減となっております。

3目 生涯学習センター費、本年度2743万3000円、前年比207万1000円の減でございます。

7項1目 保健体育総務費、本年度193万3000円、前年比58万円の減でございます。減額の主な要因でございますが、リフト減免補助金が平成26年度補正予算において、まち・ひと・しごと創生総合戦略への計上となったことによるものでございます。

2目 体育施設費、本年度2830万1000円、前年比47万8000円の増でございます。11節 特別修繕料100万5000円の計上でございますが、地域密着型特養の建設に伴い、山村広場で支障となる立木の伐採処理費等の計上でございます。



8項1目 生活改善センター管理費、本年度1695万4000円、前年比1195万6000円の増でございます。15節 生活改善センター周辺整備工事1264万7000円の計上でございます。工事内訳でございますが、改善センター前駐車場506平方メートル、路盤工、舗装工及び通路の長さが35メートル、幅7メートルの路盤工、舗装工を予定しているところでございます。

以上、10款 教育費の説明を終わります。

○委員長（齋藤雅文君） 説明が終わりました。これから質疑に入ります。

それでは事項別明細書歳出149ページから質疑を受けます。

149ページ、150ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 151ページ、152ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 153ページ、154ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 155ページ、156ページについて質疑ありませんか。

○5番（田丸利博君） 委員長、5番。

○委員長（齋藤雅文君） 5番、田丸委員。

○5番（田丸利博君） 10款3項1目 学校管理費

昨年、中学校の先生からと記憶していますが、学校の中で思うようにお金が使えないという話があり、組織の上にも直談判した経緯が聞こえてきたのですけれども、この予算を見て、私自身も何が厳しいのかわからないのですが、そういった話しというのはあるのでしょうか。

○教育次長（蔵前裕幸君） 教育次長。

○委員長（齋藤雅文君） 教育次長。

○教育次長（蔵前裕幸君） お答えをいたします。

直接的にこの部分を増額してほしいという具体的な要望はございません。実績により予算計上させていただいているところでございます。想像では消耗品は行革により圧縮をかけている部分がございますので、その辺がいくらいのかと思っているところでございます。

○5番（田丸利博君） 委員長、5番。

○委員長（齋藤雅文君） 5番、田丸委員。

○5番（田丸利博君） 学校の関係は事務長が判断されるのか、校長が判断されるのか、わからないのですが、流れをお聞きしたかったのですが、どのような形で教育委員会に要望として、予算が少なくなった場合に、どのような流れになっているのかお聞きしたいと思います。

- 教育次長（蔵前裕幸君） 教育次長。
- 委員長（齋藤雅文君） 教育次長。
- 教育次長（蔵前裕幸君） お答えをいたします。

実務的には事務官が取り仕切っている中身かと思われます。予算が不足していることは、具体的には事務官から出てこないのですが、もし例年、ここが足りないということであれば、事務官を通じて、校長等から要望が出れば、その辺を検討していきたいといった中身になると思います。

- 委員長（齋藤雅文君） 他に 155 ページ、156 ページについて質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 157 ページ、158 ページについて質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 159 ページ、160 ページについて質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 161 ページ、162 ページについて質疑ありませんか。

- 3 番（中川秀雄君） 委員長、3 番。
- 委員長（齋藤雅文君） 3 番、中川委員。
- 3 番（中川秀雄君） 10 款 4 項 3 目 寄宿舎費

寮の調理委託の関係について、先ほど管理費を変更しますということと、1 食当たりの食費を変更するというものでありましたが、実際はどのようなことで変わるのでしょうか。

- 教育次長（蔵前裕幸君） 教育次長。
- 委員長（齋藤雅文君） 教育次長。
- 教育次長（蔵前裕幸君） お答えをいたします。

向上を図り、充実強化ということで、管理費を見直し、増額となっているところでございます。対前年比で300万円ほどの増額をさせていただいているところでございます。

- 3 番（中川秀雄君） 委員長、3 番。
- 委員長（齋藤雅文君） 3 番、中川委員。
- 3 番（中川秀雄君） 結果的に生徒の負担する寮費は上がることになるのでしょうか。前年と比べてどのくらい負担が増えるのでしょうか。

- 教育次長（蔵前裕幸君） 教育次長。
- 委員長（齋藤雅文君） 教育次長。
- 教育次長（蔵前裕幸君） お答えをいたします。

本年度 1 食当たり 324 円をいただくことになっています。前年が 1 食当たり 309 円ですので、15 円ほど上がる計算になってございます。

- 3番（中川秀雄君） 委員長、3番。
- 委員長（齋藤雅文君） 3番、中川委員。
- 3番（中川秀雄君） 学校給食とも関連しますが、昨年は消費税の関係で久しぶりに改定されたのですが、直接寮とは関係なく、学校給食費は変わらないのですか。

- 教育次長（蔵前裕幸君） 教育次長。
- 委員長（齋藤雅文君） 教育次長。
- 教育次長（蔵前裕幸君） お答えをいたします。

今回1食当たりの単価を改定したのは、高校寮の食費のみで、学校給食費については、変更はございません。

- 委員長（齋藤雅文君） 他に161ページ、162ページについて質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 163ページ、164ページについて質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 165ページ、166ページについて質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 167ページ、168ページについて質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 169ページ、170ページについて質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 171ページ、172ページについて質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 173ページ、174ページについて質疑ありませんか。  
（「なし」の声あり）
- 委員長（齋藤雅文君） 10款 教育費、全般について質疑ありませんか。

- 8番（篠原正治君） 委員長、8番。
- 委員長（齋藤雅文君） 8番、篠原委員。
- 8番（篠原正治君） 先ほど学校の備品等についても、なんら問題ないようなことで考えていると、システムを教えていただきましたけれども、どうも私が聞いていることと違うことが聞こえてくるものですから、教育委員会と学校、PTAとの風通しが良くないのかと考えています。幌加内のPTAの負担は、上川の中で突出して多いと聞いています。生徒数の関係でおそらく課外活動については、職員も含めて、スクールバスを使っているのです、お金がかからないのでしょうか、修学旅行などで、費用が恐らく高くなっているのかと思います。上川の中で突出して高いことでもありますから、親御さんはどのように思っているのか、そこら辺が教育委員会として、把握して伝わっているのかどうか、お聞きしたいと思います。

○教育長（佐藤勝君） 教育長。

○委員長（齋藤雅文君） 教育長。

○教育長（佐藤勝君） 今の幌加内の子供たちは、突出してお金がかかっているというお話しが、どこかの団体には聞いたことはありますけれども、我々が調べてみたところには、数字だけは出ていますが、実質的には少人数のために修学旅行の単価は高くなる面は確かにあると思います。その他にPTAの負担は、解消のため別枠で補助もしていますし、決して上川管内を比較して、親御さんの負担が高いと私は認識していません。

○6番（春名久士君） 委員長、6番。

○委員長（齋藤雅文君） 6番、春名委員。

○6番（春名久士君） 10款7項2目 19節 ほろたちスキー場管理運営補助金

27年度は2000万円ということですが、管理指定を受けてくれる業者も非常に経営努力、あるいは良心的な形の中でやってくれているのだらうと思いますが、少しずつ上がっていく中で、将来どういう形で考えていくのか、なんぼ負担が多くともやっていくという形なのか、そこら辺の考えがあれば、お聞かせいただきたいと思います。

○教育長（佐藤勝君） 教育長。

○委員長（齋藤雅文君） 教育長。

○教育長（佐藤勝君） 決して今のスキー場経営は楽な経営にはなっていないのが、我々の認識でありますし、指定管理者にも相当の思いをして、幌加内のスキー場を運営してもらうことは間違いないことであります。これを観光とするのか、あるいは教育財産として持っていくのかは、これは議論のするところだと思いますが、私ども教育委員会としましては、子供たちが幌加内にいる限りはスキーができることが大きなものだと考えています。これから議論の余地はあるかと思いますが、教育の一環として、スキー場を存続していきたいと思っています。

○4番（中村雅義君） 委員長、4番。

○委員長（齋藤雅文君） 4番、中村委員。

○4番（中村雅義君） 10款7項2目 13節 町民プール管理業務委託料

季節的な形だと思われるが、この金額は高い気がするのですが、どのような算定の仕方をしたのか、教えて下さい。

○教育次長（蔵前裕幸君） 教育次長。

○委員長（齋藤雅文君） 教育次長。

○教育次長（蔵前裕幸君） お答えをいたします。

この算定にあたっては、幌加内町民プールと朱鞠内町民プールの2箇所の経費で、そのシーズンの経費を算定し、予算計上をさせていただいています。

○委員長（齋藤雅文君） 他に全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） 質疑なしと認めます。

これで教育委員会所管の質疑を終わります。

暫時休憩いたします。

休憩 午後 2時44分（教育長・教育次長：退席）

再開 午後 2時45分

#### ◎延会の議決

○委員長（齋藤雅文君） 休憩を閉じます。

委員の皆さんにお諮りいたします。

本日の委員会は、延会したいと思いますか、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（齋藤雅文君） それでは、そのようにさせていただきます。

#### ◎延会の宣告

○委員長（齋藤雅文君） あすは朝の9時からということでございますので、また皆様の協力をよろしくお願いをいたします。

本日は、これで延会いたします。

延会 午後 2時46分